



2023年2月発行



特集「なばりのきらきらウーマン」

第17回 Y's-company 藪井 典枝 さん

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第17回目は、農業や林業に取り組む Y's-company 専務の藪井さん。肩肘はらず自然体で、どんどん新しいことに取り組む姿勢とお茶目な笑顔が印象的でした。(インタビューの内容は[こちら](#)です)

こんな学習をしています！

名張市立小中学校の「男女共生教育」

みんなが大切にされる社会へ… 3校の取組を紹介します。



～ 名張市立錦生赤目小学校 3年生の学習から ～

「自分らしさは自分がきめる」

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」で制作された絵本『みっちときりー』を活用した授業を紹介します

このお話から、二人が自分の好きなことや大切にしていることを伝え合い、違っていても大丈夫、違うことがすてきであること、きりーのように、自分が間違っていたことに気づき変わっていく姿を見て、変わらなければならないのは周りであることにも気がついてほしいと願い授業をしました。遊びという身近なテーマであったせいか、みんなよく考え、自分の言葉で話したり書いたりしてとてもたくさんの考えが出されました。

あらすじ 花の蜜を集めるのが好きだったミツバチのみっちは、カマキリのきりーに「みっちっておとこのこなのにおはなが好きなのか？おんなのこみたいだなー。」と言われ、自分の意思に反して自分の好きなことをやめてしまいます。けれども、もやもやした気持ちが募り再び自分の好きなことを始めます。きりーと遊びたいみっちは、勇気を出して二人が好きな遊びを探そうと提案し、その遊びでみっちが楽しそうに遊ぶ姿に気がついたきりーも変わっていく、というお話です。



…………… 子どもの感想 ……………

- * 女らしく男らしくなんて関係なく、自分らしくが一番いいんだと思いました。
- * みっちときりーは好きなものはちがうけれど、楽しいことをさがしたらどっちも楽しいことがあるんだと思いました。
- * 男の子らしく、女の子らしくは関係なく自分の好きなことをしたらいい。好きなことをしている人に「〇〇みたいでかっこ悪い。」などと、言わないようにしようと思いました。

名張市男女共同参画センター

三重県名張市希中央5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内



TEL0595-63-5336 FAX0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/

「つうしん」web版はこちら

ご意見・ご感想をお聞かせください



～ 名張市立桔梗が丘小学校 5年生の学習から ～
「いろいろな性別」



名張市で、令和2年8月に「性の多様性を認めあうまち・なばり」宣言が議決されたり、三重県でも令和3年4月に「性の多様性を認め合い、誰もが安心して暮らせる三重県づくり条例」が施行されたりしています。性の多様性を理解し、全ての人の多様な生き方を認め合うことができる、人権が尊重される社会づくりが大切だという認識が共有されつつあります。そんな中、桔梗が丘小学校では、性の多様性について理解し、多様な生き方を尊重しようという気持ちを持つために「いろいろな性別」の学習を「人権教育カリキュラム」において5年生に位置付けています。今回、市の教育委員会の研修で配布されたDVD教材「いろいろな性別～LGBTに聞いてみよう～」を用いて、性のありかたは男女で二分されるものではないこと、自分らしさを認め合うことが大切だということ、人権を大切にしていこうとする自分の行動について考えることなどを意図して学習を行いました。11月8日には、5年C組での学習を、桔梗が丘中学校区の人権教育推進協議会の公開授業として行い、授業後の協議の中で委員の皆さんからは、



ZOOMでの授業参観の様子

「我々の年代では、性別は、男と女だけという差別的な考えがまだまだあるが、子どもたちが素直に学んでいるのがよい」、「子どもたちがLGBTについて学んでいてよかった。『きめつけ』など人権問題の根底は同じで、親世代へもこのような学習内容が伝わっていけばよい」などの意見が出されていました。

～ 名張市立北中学校 2年生の学習から ～
「性の多様性 —みんなが自分らしく生きるために—」



北中学校では、令和3年度入学生より段階的に制服のブレザー化を進めています。来年度には、1年生から3年生まですべての学年の生徒が新しい制服を身にまとうこととなります。この制服の変更は、全国的なブレザー化の流れや、以前からの制服の機能性の課題の改善という側面もありましたが、おおきなきっかけとなったのは、心と体の性が一致せず、悩み続けた生徒の存在があったからでした。

本年度2年生においては、年間の人権学習の中で、全5時間でこの「性の多様性」の問題について学習を深めました。自分自身の中に性別による固定的なイメージがないかどうか自らを振り返ったり、LGBTやSOGIEなど多様な性の在り方について学習を深めたりしながら、最終5次では生徒実行委員が中心となって「学年なかま集会」をもち、話し合いを進めました。「みんなが自分らしく生きることができる社会をつくっていくためには、自分は何ができるのか。」「もし自分に困ったことがあったら、どんな人に相談したいか。」などについて積極的に意見を出し合いました。



……生徒の意見から……

- *「男はこうじゃないとダメ」とか「女はこうじゃないとダメ」とか自分で決めつけることをみんながやめて、一人ひとりの個性を大切にしようという気持ちが必要。
- *みんなが自分やみんなを好きになる。
- *人のことに興味をもつ、理解する。
- *互いの違いを認め合う。

Topics

バレンタインデー
とジェンダー

2月14日のバレンタインデー、
「女性が男性にチョコをあげる」のは当たり前？



世界では男性が花束を贈る日だったり、性別に関わらず愛を伝える日だったりするよ。日本でも最近は「友チョコ」が増えているね。逆に義理チョコが女性の“義務”になるとか、もらったチョコの数で男性を評価するようなことは、「ジェンダーハラスメント」にあたる可能性があるよ。もしプレゼントするなら、性別や圧力が理由じゃなくて、条件なしの愛情や感謝を込めたいなあ。

バレンタインの期間中にチョコを買うことで世界の女の子たちをサポートしようという取り組みもあるよ。「#サポチョコ」は、売り上げの一部が国際 NGO のプラン・インターナショナルに寄付され、早すぎる結婚や人身売買を防止するなど、途上国の女の子を支援する活動などに使われているんだって。他にもフェアトレード商品を購入することなどで、バレンタインの買い物が誰かのためになると、ちょっとうれしいよね。



つうしん 119 号アンケート

つうしんを手にとっていただきありがとうございます。今後の編集のために、ご意見をお寄せください。ご回答いただいた方の中から抽選で2名様に図書カード1000円分を進呈いたします。

下記①～⑤の必要事項をご記入のうえ、メール、ハガキ、または FAX でお送りください。(送料等をご負担ください)

※ご記入いただいた個人情報は図書カードの発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます

- ① 記事の内容は参考になりましたか？ (a) 参考になった (b) 参考にならなかった
- ② 「参考になった」を選択された方にお尋ねします。どの記事が参考になりましたか？(複数回答可)
(a) 特集「なばりのきらきらウーマン」 (b) 名張市立小中学校の「男女共生教育」
(c) Topics: バレンタインデーとジェンダー (d) 相談日程
- ③ 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか？(複数回答可)
(a) 生命の安全教育(性教育)のこと (b) 世界の男女共同参画の取組 (c) その他()
- ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
- ⑤ 119号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

★ お名前、年齢、住所、連絡先、つうしんの号数を明記の上、下記連絡先へお送りください。
応募締切は **3月10日 金曜日** (必着) です。

〈メール宛先〉 danjo-center@emachi-nabari.jp 「つうしん 119号アンケート」
〈郵送宛先〉 〒518-0775 名張市希中央 5-19 名張市男女共同参画センター宛
〈FAX 宛先〉 0595-63-5326



メールQRコード

編集後記

今号で3つの小中学校から寄せていただいた性の多様性の授業の様子をみせていただき、ついつい「決めつけ」をしていないかな？と自分を振り返り、子どもたちに学んでいかなくちゃと感じました。今年度最後の「つうしん」を手にとっていただき、ありがとうございました！ 来年度もこれまでと同様、さまざまな話題と見やすい紙面で読む人の気づきや知識の一助となれるよう、精進していきたいです。



2023年

相談日程

名張市男女共同参画センター

3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------|----|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--|-----------------------------|
| ●予約電話 63-5336 | | | 1 | 2 | 3 女性弁護士による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00 女性のための相談 13:00~16:00 | 4 |
| | | | 5 | 6 | 7 | 8 女性のための相談 9:00~12:00 |
| 12 | 13 | 14 人権相談 13:30~16:00 | 15 女性のための相談 9:00~12:00 | 16 メンタルヘルス相談 10:00~12:00 | 17 女性のための相談 13:00~16:00 | 18 |
| 19 | 20 | 21 人権相談 13:30~16:00 | 22 女性のための相談 9:00~12:00 | 23 | 24 女性のための相談 13:00~16:00 | 25 |
| 26 | 27 | 28 メンタルヘルス相談 13:00~16:00 | 29 女性のための相談 9:00~12:00 | 30 | 31 女性のための相談 13:00~16:00 | |

4月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|----|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|--|----|
| ●予約電話 63-5336 | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 女性のための相談 9:00~12:00 | 6 | 7 女性弁護士による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00 女性のための相談 13:00~16:00 | 8 |
| 9 | 10 | 11 人権相談 13:30~16:00 | 12 女性のための相談 9:00~12:00 | 13 男性のための相談 17:00~19:00 | 14 女性のための相談 13:00~16:00 | 15 |
| 16 | 17 | 18 人権相談 13:30~16:00 | 19 女性のための相談 9:00~12:00 | 20 メンタルヘルス相談 10:00~12:00 | 21 女性のための相談 13:00~16:00 | 22 |
| 23 | 24 | 25 メンタルヘルス相談 13:00~16:00 | 26 女性のための相談 9:00~12:00 | 27 | 28 女性のための相談 13:00~16:00 | 29 |
| 30 | 31 | | | | | |



女性のための相談

予約優先

電話相談可

毎週水曜日 9:00~12:00 ※祝日の場合は
毎週金曜日 13:00~16:00 お休みです



女性弁護士による法律相談

要予約

面談

毎月第1金曜日 10:00~12:00
13:00~15:00



男性のための相談

予約優先

電話相談可

毎月第2木曜日 17:00~19:00



メンタルヘルス相談(男女共)

要予約

面談

毎月第3木曜日 10:00~12:00
毎月第4火曜日 13:00~16:00



人権相談

要予約

面談

毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special
interview

17

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

やぶ い のり え
籾井 典枝 さん

Y's-company (ワイズカンパニー)
専務

profile

奈良県生まれ。結婚を機に名張へ転居。2014年に夫婦でY's-companyを設立。2017年に義父母の米農家を継ぐ。現在は米農家と林業を営み、サロン経営もしている。5児の母。

人と人をつなぐ農業



お仕事のことを聞かせてください。

夫婦で米農家と林業を営んでいます。米農家を受け継ぎ、「お米と林業を中心に地域と交流」をテーマとして、現在は伊賀米「やぶいちゃんのお米」に力を入れています。林業では、森を守ることは命を守ることと考え、古くなった木を伐採・整備することで土を生き返らせて、動物が住みやすく土砂崩れが起りにくい森づくりをしています。また、リラクゼーションサロンを経営しており、旧国津小学校の教室をリフォームして、癒しの空間を作りました。



米農家と林業を始めたきっかけを教えてください。

結婚を機に名張市へ転居し、脱サラをして農業を始めた夫と一緒に、2014年に夫婦で会社「Y's-company」を設立しました。そんな折、義父母が先代から作ってきた田んぼを縮小しようかなと考えていることを聞き、こんなおいしいお米を私たちの代で絶やしてはいけないと思い、継ぐことを決意しました。しばらくは、他に仕事を持ちながら農業を続けていましたが、今は農業を仕事にして頑張っています。

林業を始めたのは、もともと先代が林業もやっていたことがきっかけで、義父と夫と共に森林の環境整備を中心に伐採をしています。現在、無謀な森林の伐採による土砂災害も起き

ていますが、私たちは整備されていない森林の伐採、整備を行うことで、災害に強い森林づくりを目指しています。

お仕事をする中でのやりがいや面白さを感じることはどんなことですか。

お米を食べてくださった方々から「お米おいしかったよ。」と言っただけのことが、何よりの励みになります。お米作りは、田んぼの準備や育苗、田植え、収穫など一年がかりですが、毎年試行錯誤しながら作ることにやりがいを感じますし、農業の知識や経験を広げられて、とても面白いですね。最近では、市内のカフェとコラボして名張のお米を使った麴を作りました。そしておかげさまで、令和4年度「伊賀米うまい米コンテスト」で名張市長賞をいただきました。

森林の整備も、重機は使いこなすことはできませんが、伐採した木をどう活かすか私なりに考えて、樺の木をツリーやスワッグ（壁飾り）に活用してみたりと楽しんでいます。

仕事と家庭の両立のためのコツはどんなことでしょうか。

なんでも楽しんでやっています。もちろん落ち込むことはありますが、義父母をはじめ人生の先輩によく相談に乗ってもらっています。わからないことを人に聞いて知る、やりたいことがあれば「どうしたらできるか」を考えることも楽しんでいます。今は子どもたちもよくお米作りの手伝いをしてくれますし、お菓子やキャラ弁を作って、子どもたちとコミュニケーションを



とったりしています。お弁当を作れないときは夫が作ってくれたり、仕事も子育ても夫婦でチームプレイです。

今後の夢や目標を教えてください。

夢は、名張市がもっといろいろな分野で開けることです。いいものが沢山あるのに、お仕事に繋がっていなかったり、周知されていなかったりするの、雇用が増え、女性を含めたいろんな方が活躍できる名張市になってほしいと思っています。

目標は、次世代に林業の必要性や大切さを伝えていきたいのと、多くの子供たちに農業を経験してもらいたいと思っています。土に触れることは心身の健康に繋がりますから。

プリンをおいしく作ることにハマっていて、ベストな配合を研究中です。



自慢のお米→

* 見つけた「彼女らしさ」 *

「仕事も育児も楽しくやっています。」と話す藪井さんは、細かいことは気にしない大らかな印象で、それが心地よく感じられて癒されました。周りの人を穏やかにする温厚な性格でありながら、新しい環境に飛び込む勇気を持ち、名張の活性化のために幅広い取り組みを行っている姿に、藪井さん「らしさ」を感じました。